

2022年4月1日

JBCA 会員各位

JBCA 企画委員会

「ビジネス・コミュニケーション」に関するテキストの出版企画について

拝啓 春暖の候、会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて JBCA 企画委員会では現在、「ビジネス・コミュニケーション」に関するテキストの出版を企画しています。つきましては JBCA 会員の方々から分担執筆者を募集させていただきたく、お知らせ申し上げます。下記の留意事項をご一読いただき、ご協力いただける場合は、学会のホームページで「ビジネス・コミュニケーション」に関するテキスト執筆申込書（別紙 B）をダウンロードして、ワードをご利用のうえ（PDF は不可）、5月31日（火）までに（必着）email 添付により 企画委員会（huyuru@tamacc.chuo-u.ac.jp）までお送りください。学会 Web ページ（<http://www.jbca.gr.jp/>）

企画委員会で内容を確認の上、折り返し連絡差し上げます。

皆様方からのご応募を心よりお待ちしております。

敬具

記

コンセプト

- ・タイトルは「ビジネス・コミュニケーション入門—基本理論と実践への活用—（仮）」とし、これから「ビジネス・コミュニケーション」の学習を始める（あるいは学習を始めたばかりの）初学者向けの入門書とする。
- ・「ビジネス・コミュニケーション」を対象とする基礎科目や基礎演習等で採用いただくことを想定。
- ・「企業が行う様々なコミュニケーション活動」に係わるビジネス上の諸課題の内、これからビジネス・コミュニケーションを学ぶ（あるいは学習を始めたばかりの）初学者が知っておかなければならない必要最低限のものにとどめることとし、基礎理論と実践を繋ぐケーススタディを中心とする。
- ・マーケティングコミュニケーション（広告論）と貿易コミュニケーション（商業英語）は含めない。
- ・全体で 150～200 ページ程度とする（2000 円程度を想定）。
- ・章数は 7～8 とする（執筆者があまり多くならないように配慮）。
- ・以上を踏まえ、各章のおおよそのテーマおよび方向性は別紙 A の通りとする。

※裏面に続く

執筆要領

- ・1章につき800字程度×20～25ページ程度。
- ・複数の執筆者で1つの章を執筆することも可能とする。
- ・本文は「です・ます」調。
- ・まえがき（2～3ページ程度）は小林理事長に執筆いただく。
- ・各章とも、最初に「キーワード（数個）」と「本章のねらい（400字程度）」を掲げる（「本章のねらい」は「である調」でOK）。
- ・学習者による自主的学習を促すため、各章（第1章を除く）の最後（後半）には「研究課題（～について調べてみよう・考えてみよう）」を3問程度設問、これを各章の応用編（問題）と位置づける（学生による授業内活動の材料に充てられるよう配慮する）。
- ・各研究課題には、当該課題に取り組むに当たっての参考文献を指定する（執筆者の論文等でも構わない）。
- ・学習のさらなる深化を促すため、各章（第1章を含む）の最後に当該章に関する「ブックガイド（コメント付きで2～3冊程度）」を併記する（論文や特定の文献の特定の章も可とする）。
- ・各章の文末に参考文献を掲載する。

おおまかな出版スケジュール

- 2022年4～5月：執筆者募集
- 2022年6～7月：執筆者決定
- 2022年8月～2023年1月：原稿の執筆
- 2023年2月：企画委員会にて原稿確認
- 2023年3～4月：原稿の修正・調整
- 2023年5月：企画委員会にて原稿再確認
- 2023年6～7月：校正
- 2023年8～9月：印刷
- 2023年10月：完成
- 2023年10月：全国大会にて出版披露

【連絡先】

JBCA 企画委員会（山本・平澤・松尾）
Email : huyuru@tamacc.chuo-u.ac.jp

以上